

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 次に掲げる事項のうち、総務大臣が陸上移動業務の無線局の免許申請書を受理し、その申請の審査をする際に審査する事項に該当しないものは、次のどれか。

1. その無線局の業務を遂行するに足る財政的基礎があること。
2. 工事設計が電波法第3章（無線設備）に定める技術基準に適合すること。
3. 周波数の割当てが可能であること。
4. 総務省令で定める無線局（放送をする無線局（電気通信業務を行うことを目的とするものを除く。）を除く。）の開設の根本的基準に合致すること。

〔2〕 陸上移動業務の無線局（免許の有効期間が1年以内であるものを除く。）の再免許の申請は、次のどの期間内に行わなければならないか。

1. 免許の有効期間満了前1箇月まで
2. 免許の有効期間満了前2箇月まで
3. 免許の有効期間満了前2箇月以上3箇月を超えない期間
4. 免許の有効期間満了前3箇月以上6箇月を超えない期間

〔3〕 「パルス変調で変調信号がなく無情報のもの」の電波の型式は、どの記号で表示されるか、正しいものを次のうちから選べ。

1. P O N
2. P O F
3. F O B
4. A O A

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、1,606.5キロヘルツから4,000キロヘルツまでの周波数の電波を使用する陸上の無線局の無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 5ワット
2. 10ワット
3. 50ワット
4. 100ワット

〔5〕 無線局の免許人又は登録人は、主任無線従事者を選任したときは、総務大臣が別に告示するところによる場合を除き、当該主任無線従事者に選任した日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣が行う講習を受けさせなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 5年 | 2. 1年 |
| 3. 6箇月 | 4. 3箇月 |

〔6〕 次に掲げる者のうち、無線従事者の免許が与えられないことがある者はどれか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 電波法の規定に違反し、3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止され、その停止の期間の満了の日から2年を経過しない者
2. 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
3. 日本の国籍を有しない者
4. 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法

〔7〕 空中線電力50ワット以下の固定局の無線設備を使用して応答を行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるとき、応答事項のうち送信を省略することができる事項は、次のどれか。

1. どうぞ
2. (1) こちらは 1回
(2) 自局の呼出名称 1回
3. 相手局の呼出名称 3回以下
4. (1) 相手局の呼出名称 3回以下
(2) こちらは 1回

〔8〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）が行われる場合は、次のどれか。

1. 臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。
2. 無線設備の変更の工事を行ったとき。
3. 無線従事者選解任届を提出したとき。
4. 無線局の再免許が与えられたとき。

〔9〕 免許人又は登録人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。

1. 期間を定めた電波の型式の制限
2. 再免許の拒否
3. 期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限
4. 期間を定めた空中線電力の制限

規

〔10〕 無線局が非常通信を行ったとき、電波法の規定により免許人又は登録人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 総務省令で定める手続により、承認を受ける。
2. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
3. 非常災害対策本部長に届け出る。
4. 地方防災会議会長に報告する。

〔11〕 無線局の免許人又は登録人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定によりどの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 2週間以内にその旨を届け出る。
2. 1箇月以内にその旨を報告する。
3. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
4. 遅滞なくその旨を届け出る。

〔12〕 固定局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。

1. 中央標準時
2. 協定世界時
3. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
4. 中央標準時又は協定世界時